

小・中学校

## 「教科等指導の重点」単元計画の作成

令和3年4月

大分県教育センター教科研修・ICT推進部

○小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から学習指導要領が全面実施となりました。指導計画の作成に当たっては、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育むべき資質・能力の確実な育成に向けて、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが求められています。

○これまで以上に、1時間の授業とその授業を含む単元全体のまとまりを考えながら授業改善を進めることが必要になります。

○このような現状を踏まえ、県教育センターで実施する教科等指導に係る研修において活用するために、単元構想を重視した本資料を作成しました。

### (1) 単元構想力を育む

#### ① 単元とは

・児童生徒の学習過程における学習活動の一連の「まとまり」

#### ② 児童生徒の学びと単元

・資質・能力は、児童生徒の学びを通して、時間をかけて育成される。

・3つの資質・能力をバランスよく育むためには、まとまりのある内容や時間が必要である。

・授業者は、計画通りに単元展開することを優先するのではなく、児童生徒の状況に応じて柔軟に修正し、児童生徒個々の最適な学びを生み出そうとする構えが重要である。

#### ○学習指導要領総則第2の3(3)ア

各教科等の指導内容については、(1)のアを踏まえつつ、**単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら**、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、第3の1に示す主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む効果的な指導ができるようにすること。

#### ○学習指導要領総則第3の1(1)

**単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら**、児童(生徒)の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

#### ○学習指導要領総則第3の2(1)

各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、**単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら**評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

### ③ 単元構想と単元計画

#### 【単元構想】

- ・具体的な計画を作成する前に単元全体をイメージする。
- ・構想のための「3つの視点」

|   |  |
|---|--|
| A | 児童生徒の実態（興味、関心）→主体的な活動につなげる。                        |
| B | 教師の願い→何をどのように学ばせたいのか。<br>→どのような資質・能力を身につけさせたいのか。   |
| C | 教材の特性→児童生徒の学習を動機付け、方向付け、支える学習の素材としてどのような性質を有しているか。 |

#### 【単元計画】

- ・単元構想で描いたイメージを、年間指導計画や実施時数、学習過程等を考慮して具体化する。
- ・「学習指導要領」に定められた教科等の目標や指導事項を確実に踏まえ、児童生徒の実態に即した教育課程を編成する。

### ④ 単元の学習指導案に盛り込む構成要素（例）

#### ○単元名

- ・児童生徒の学習の姿が具体的にイメージできる単元名が望ましい。

#### ○単元目標

- ・単元で育成すべき資質・能力を明らかにする。
- ・単元で取り上げる指導事項（指導内容）から単元の目標を設定する。
- ・指導者の目標として表現する。（～できるようにする。～を養う。等）

#### ○児童生徒の実態

- ・育成すべき資質・能力に関する生徒の実態や既習事項を確かめる。

#### ○教材について

- ・育成すべき資質・能力に照らして、教材のどこに価値があるのかを具体的に記す。

#### ○単元の評価規準

- ・単元の目標に照らして、概ね満足できる（Bと判断できる）具体的な生徒の姿を想定して記述する。
- ・文末を「～している。」「～しようとしている。」と表現する。教科によっては、「～できる。」と表現することもある。

#### ○指導と評価の計画

- ・主たる学習活動に沿って、指導上の留意点やどの時間に何をどのように評価するのか等を示す。

#### ○本時案

- ・ねらい
- ・めあて・課題・まとめ・振り返り
- ・本時の評価規準（単元の評価規準に基づき、より具体的に設置する。）

など

※構成要素相互の関連を重視する。

## (2) 単元計画作成の手順

『早わかり！単元計画の作成手順』（令和2年度2月義務教育課）を基本テキストとする。  
(<https://www.pref.oita.jp/soshiki/31810>→「学力向上に向けた授業改善」)

- ① 単元で取り上げる指導事項を確認する。
- ② 単元の指導目標を設定する。
- ③ 単元の評価規準を設定する。
- ④ 単元の指導と評価の計画を作成する。  
・「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式例」（参照）
- ⑤ 単元の評価計画をもとに、本時の評価規準を具体的にする。

※単元構想、単元計画の作成は、「時間」をかけるより、「回数」を重ねることが肝要！

- ・「今日のこの1時間」は、単元で育成すべき資質・能力にどうつながるの？
- ・前時、本時、次時のつながりはこのままでよいか？
- ・本時の学習成果物は、学習評価の対象として適切かな？
- ・「C」の状況にある生徒を「B」に引き上げるには？

などの視点で、一度立てた単元計画を繰り返し見直す。→「メモ」の蓄積

※『早わかり！単元作成の手順』を参照しながら見直す習慣を！

### もっと知りたい！探りたい！参考資料<ネットで検索！>

※文部科学省 ※大分県教育委員会義務教育課 ※大分県教育センター など

- ・「学習指導要領解説〇〇編」
- ・「学習評価の在り方ハンドブック」
- ・「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式例」
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料
- ・「目標達成に向けた組織的な授業改善」推進手引き（小・中学校版）（改訂版）
- ・「新大分スタンダードについて」
- ・「オンライン授業」 ・「学習評価」 など

※自らひもとく！

